

令和元年

ソフィア・10月号

## 「遊び」

子どもにとって遊びほど幸福で貴いものはない。

子どもの遊びはつまり子どもの身体と心との旺（さか）んな活動が外に現れたのに外ならないものであって、子どもが遊ぶということは大袈裟に言えば、つまり子どもが活着しているということと同じ意味であるといってもいいのです。

倉橋惣三

NHKの番組で、歌手の美空ひばりさんがAIでよみがえり新曲を歌う。というプロジェクトを立ち上げました。ヤマハの協力を得て「VOCALOID: AI」を使い、保管しているひばりさんの膨大な歌声や映像をAIに記憶させ、ひばりさんの歌い方の癖や発声そのままに新曲を歌わせます。「せりふ」部分は、ご自宅に保管されていた本人の肉声の絵本の読み聞かせをAIに記憶させて、違和感なくひばりさんが生前、話されたような口調でせりふが流れていきます。AIの無味無臭の存在が、そのプロジェクトに関わる人たちの「ひばりさんに会いたい」という純粋な気持ちと「会わせてあげたい」という人の心とが入ると、AIの歌う声やふるまいに優しさや労りや勇気付ける気持ちが入った声となっていきます。とても不思議な行程でした。プロジェクトを進める人たちは、試行錯誤しつつ、その人のもつ「感性」でAIに命を吹き込んでいました。

乳幼児期にいかにかに五感を使い、遊びの経験を繰り返すか。が、感性を研ぎ澄ます根っこになります。五感を使い遊びを繰り返すことで、自分の体のこと、自分の好きなこと、自分が心地よいこと、自分が苦手に思うこと、自分にとっていやなこと、自分を好きになる気持ちが育てられます。

科学を希望に変えていく感性をもつ人に育ててほしいと願います。

ソフィア東生駒こども園 園長 中畑直実